

23 知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）の推進について

（文部科学省）

京都市域では、平成 14 年 7 月から「ナノテクノロジー」を基盤核技術に位置付け、知的創造の拠点たる大学を核に、知的クラスター創成事業「京都ナノテク事業創成クラスター」に取り組み、産学公の有機的な連携の下、電子デバイス、医療、バイオ、繊維、IT 等の分野での新事業創出を図り、研究成果の商品化・事業化、大学発ベンチャーの創出等の成果を生み出しております。

京都市では、平成 18 年 10 月に「京都市産業科学技術振興計画」を策定し、科学技術都市の構築に向けた取組を推進しておりますが、知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）は、その中核となる事業であり、これまでの研究開発の成果を踏まえつつ、京都の強みである「ナノテクノロジー」を基盤核技術とした研究開発を一層推進し、世界レベルのクラスター形成を目指しております。

つきましては、京都市域における知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）の推進に格段の御配慮をいただくよう要望します。

要望事項

京都市域における知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）の推進

主な要望先：文部科学省（科学技術・学術政策局基盤政策課地域科学技術振興室）

京都市の担当課：産業観光局 商工部 産学連携推進課長 横田久幸 TEL 075-222-3755

<参考>

知的クラスター創成事業「京都ナノテク事業創成クラスター」の推進状況

1 研究開発テーマ（平成 19 年度）

- (1) ナノ構造体表面加工・解析装置の開発
- (2) 薄膜・微粒子技術の産業化
- (3) フォトニック技術の確立
- (4) ナノバイオ基盤技術
- (5) 自然順応ナノ材料の創成
- (6) 関係府省連携プロジェクト

2 参画機関数（平成 19 年 4 月現在）

8 大学, 2 公的研究機関, 企業 31 社

3 主な成果（平成 19 年 1 月末現在）

- (1) 特許出願件数 国内 178 件, 海外 36 件
- (2) 商品化, 事業化, 企業化件数 27 件
- (3) 論文 567 件

4 知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）の採択に向けた取組

(1) 取組内容

知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）ワーキンググループの設立

(2) 設立年月日

平成 18 年 10 月 10 日

(3) 設立目的

知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）の採択に向け, そのビジョンや研究開発テーマ等を検討するために設立。

(4) 検討状況

平成 18 年度中に 6 回のワーキンググループを開催。

ワーキンググループにおける検討状況を取りまとめた「京都地域 第Ⅱ期知的クラスター創成事業 ー基本計画書（案）ー」を作成。